

産業廃棄物処理計画書

平成29年6月15日

滋賀県知事 殿

提出者

住所 滋賀県湖南市石部が丘一丁目1番1号
氏名 日本精工株式会社石部工場
執行役工場長 高山 優

電話番号 0748-77-3161

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日本精工株式会社石部工場
事業場の所在地	滋賀県湖南市石部が丘一丁目1番1号
計画期間	平成29年4月1日 ~ 平成30年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	25 はん用機械器具製造業
②事業の規模	生産高 78,597百万円
③従業員数	833名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙-1.2の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙-3の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成28年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙-4の通り
	排出量	別紙-4の通り
	(これまでに実施した取組) 別紙-4の通り	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙-4の通り
	排出量	別紙-4の通り
	(今後実施する予定の取組) 別紙-4の通り	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙-4の通り
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙-4の通り

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（平成28年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t
	(今後実施する予定の取組)	

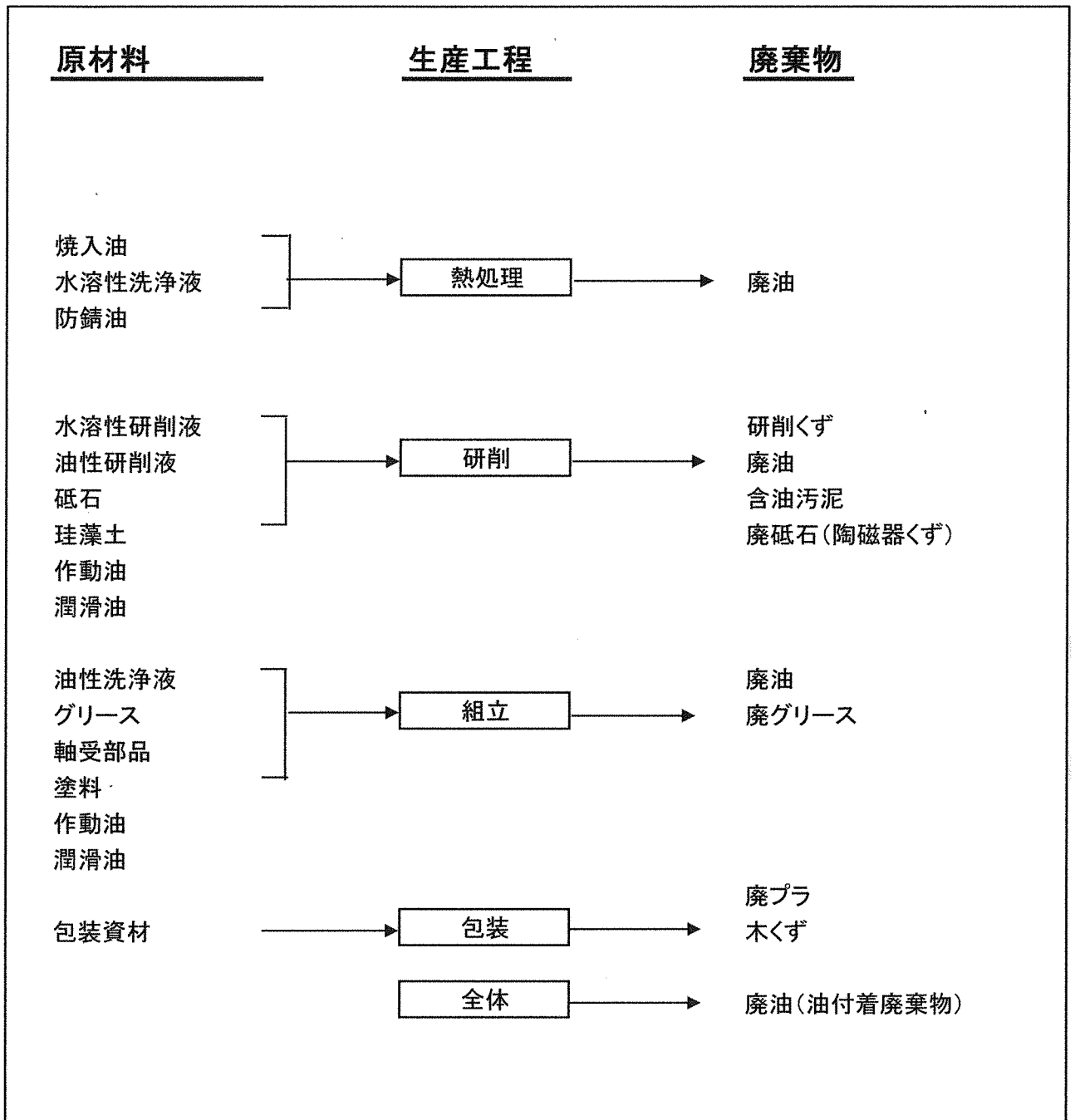
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（平成28年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
①現状	【前年度（平成28年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t
	(今後実施する予定の取組)	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
①現状	【前年度（平成28年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙の通り
	全処理委託量	別紙-5の通り
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙-5の通り
	再生利用業者への処理委託量	別紙-5の通り
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙-5の通り
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙-5の通り
	(これまでに実施した取組)	
別紙-5の通り		

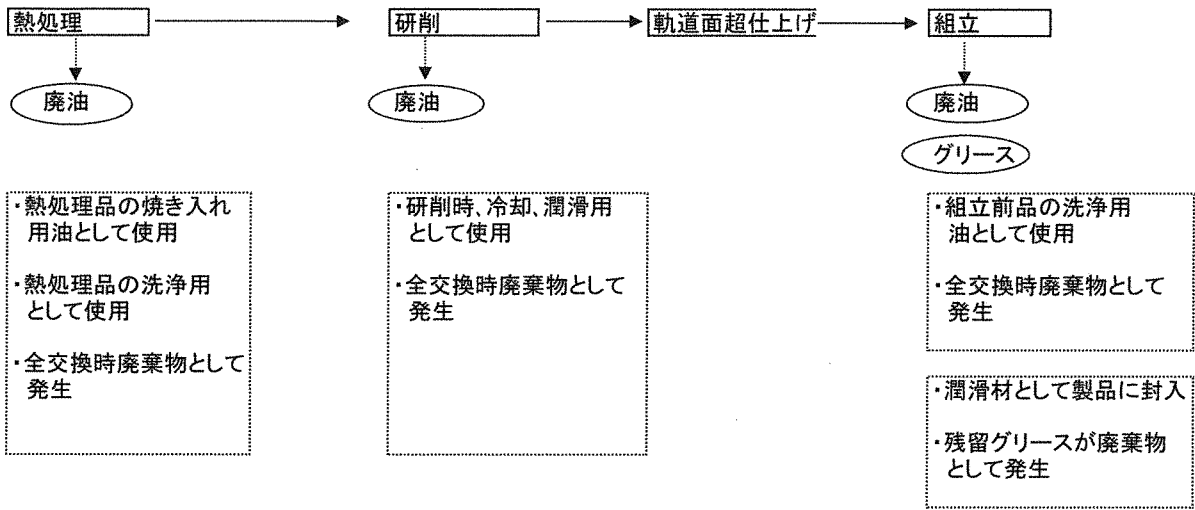
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙－5の通り
	全処理委託量	別紙－5の通り
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙－5の通り
	再生利用業者への 処理委託量	別紙－5の通り
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙－5の通り
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙－5の通り
	(今後実施する予定の取組)	
別紙－5の通り		
※事務処理欄		

軸受製造フローシート

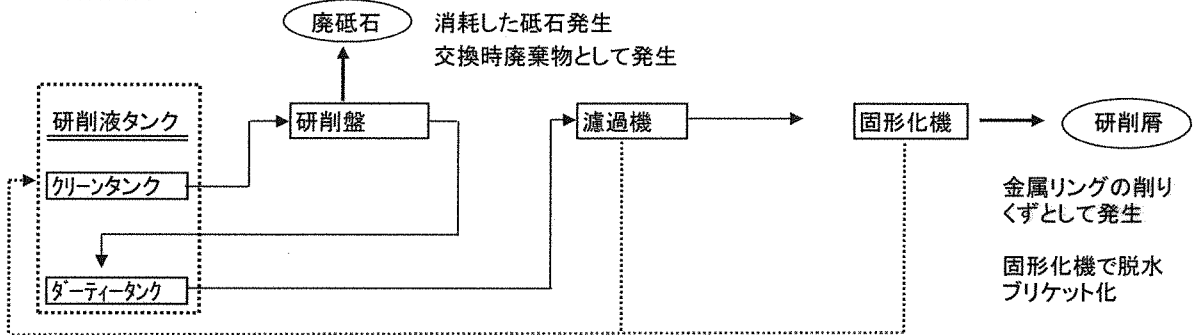


別紙-2 産業廃棄物の一連の処理の工程

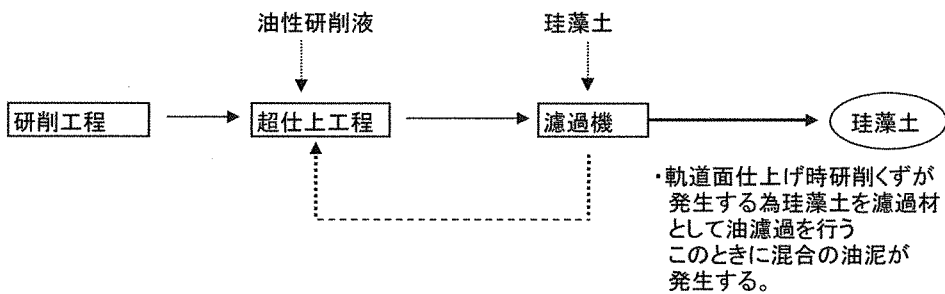
廃油発生フロー



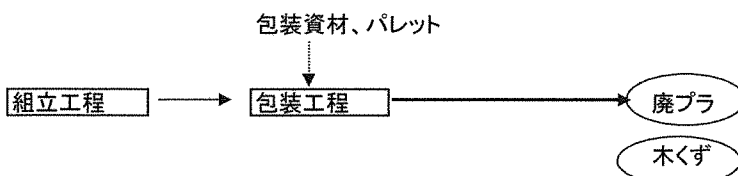
廃砥石、研削屑発生フロー



珪藻土発生フロー



廃プラ、木くず発生フロー

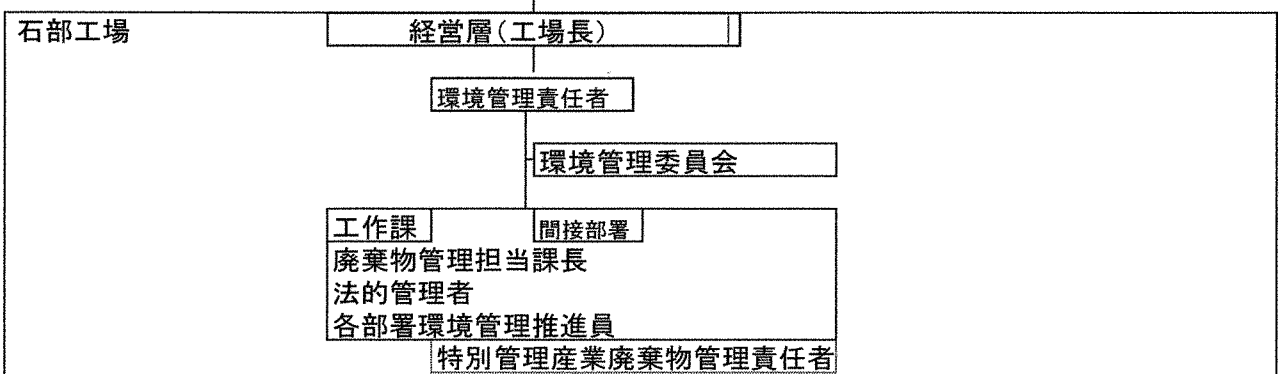
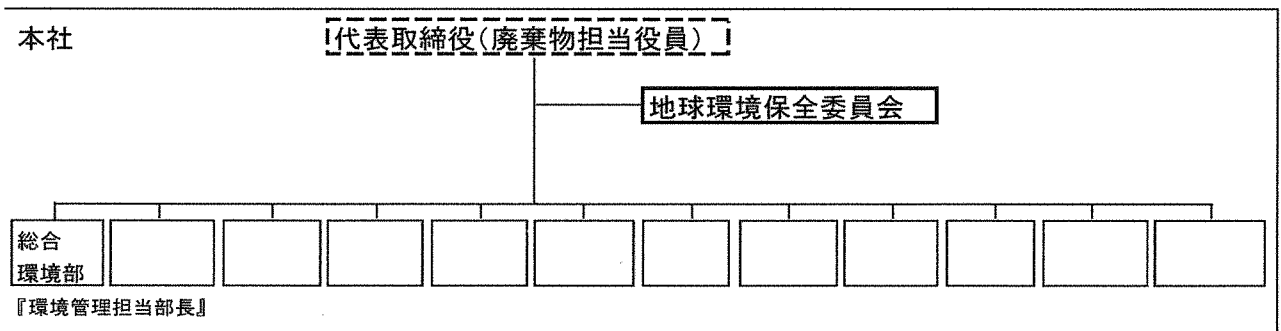


別紙-3 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

統括責任者(経営層)	所属:石部工場長	職・氏名: 高山 優
環境管理責任者	所属:生産技術課長	職・氏名: 山田 健一
廃棄物担当	組織名:生産技術課	担当人数: 2名

組織・担当	役割
環境管理委員会	<p>○廃棄物の削減と再資源化に関する検討 中期計画に基づく、廃棄物の発生量の削減、再資源化、適正処理の推進、 当期計画に基づく廃棄物の管理についての検討を行う</p> <p>委員長:工場長 実務推進:環境管理責任者</p> <p>委員:実行部署部署長 事務局:生産技術課</p>
環境管理責任者	<p>○廃棄物管理に関するプログラムの起案と見直しを行う。 ○社外との環境に関する窓口業務の統括。 ○環境法関連法規等の情報入手と遵法維持の為の教育の実施。 ○廃棄物管理が確立され、実施され、かつ維持されることを確実にする。 ○活動実績に関し不適合がある場合は調査及び是正の指示を行う。 ○活動の実績を工場長に報告する。</p>
廃棄物管理担当部署長	<p>○部署毎の廃棄物管理計画の作成。 ○部署内環境管理推進員の選任と課内教育の実施。 ○廃棄物処理に関する業務、廃棄物管理状況の把握と改善策の検討。 ○社内外の環境情報の広報を行う。 ○契約取引先の必要な環境情報を周知する。</p>
実行部署部署長	<p>○部署内環境管理推進員の選任と課内教育の実施。 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討。</p>

廃棄物管理組織



別紙-4 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

平成28年度実績

①現状	産業廃棄物の種類	汚泥(珪藻土、他)	廃油(含油廃水)	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	廃酸	金属くず(研削くず)
	排出量(t)	176.87	1424.92	76.47	37.08	128.55	36.28	3	0
	(これまでに実施した取組)	生産効率向上	油液漏れ箇所の修繕	ナイロン袋再利用 有価物化協議	法人毎分別処分 パレット修理による再利用	製品不良削減	珪石長寿命化取組み 再使用の推進	条例等順守による新たな廃棄物	全量有価物化

平成29年度目標

②計画	産業廃棄物の種類	汚泥(珪藻土、他)	廃油(含油廃水)	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	廃酸	金属くず(研削くず)
	排出量(t)	170	1200	75	35	125	35	3	0
	(今後実施する予定の取組)	生産効率向上	事故防止対策による突発回収の削減	購入品の過剰包装見直し	迷いパレットの所 有元返却	有価物化推進	蛍光管LED化推進		
						製品不良削減			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	分別している産業廃棄物の種類	汚泥(珪藻土、他)	廃油(含油廃水)	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	廃酸	研削くず
	分別に関する取組	専用鉄缶保管	専用タンク保管	廃棄物ヤード及び びコンテナBOX保 管	指定枠囲み場 所保管	金属くずヤード保 管	専用BOXとフレ コン保管	指定場所にて1 mコンテナ保管	フリット化後、フ レコン保管
		保管場所表示の見直しと定期点検の実施 環境教育等にて全従業員、構内委託業者に廃棄物分別取組みの周知徹底を図る							

②計画	今後分別する予定の産業廃棄物の種類	現時点では特になし							
	分別に関する取組	分別精度向上に向けて保管場所整備とマニュアル整備及び、従業員等への教育実施							

別紙-5 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

平成28年度実績

①現状	産業廃棄物の種類									
	汚泥(珪藻土、他)	廃油(含油廃水)	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	廃酸	金属くず(研削くず)		
全処理委託量(t)	176.87	1424.92	76.47	37.08	128.55	36.28	3	0		
優良認定処理業者への処理委託量										
再生利用業者への処理委託量	5.02	237.28	20.28	18.08	0	15.07	0	0		
認定熱回収業者への処理委託量	0	14.03	0	0	0	8.06	0	0		
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託	0	0	0	0	0	0	0	0		
これまでに実施した取組	生産効率向上	油液漏れ箇所の修繕	有価物化協議	パレット修理による再利用	製品不良削減	磁石長寿命化取組み		有価物化		

平成29年度目標

②計画	産業廃棄物の種類									
	汚泥(珪藻土、他)	廃油(含油廃水)	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス陶磁器くず	廃酸	金属くず(研削くず)		
全処理委託量(t)	170	1200	75	35	125	35	3	0		
優良認定処理業者への処理委託量										
再生利用業者への処理委託量	10	250	25	20	0	17	0	0		
認定熱回収業者への処理委託量	0	15	0	0	0	9	0	0		
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託	0	0	0	0	0	0	0	0		
今後実施する予定の取組	生産効率向上	事故防止対策による突発回収の撲滅	購入品の過剰包装見直し	迷いパレット持込対策	有価物化推進	蛍光管LDE化推進		産業廃棄物化する可能性あり		